

放射線透過法による検査事例と適用機器

社会インフラと並び、産業インフラは高経年化が進み維持管理の重要性増しています。対象となる設備・構造物の検査には様々な手法がある中で工業分野における非破壊検査の歴史の中でも古くから適用されている放射線透過法について、法規・規格、実用技術や開発終盤の技術について特徴や用途、適用事例について紹介します。

*ご希望の方には、非破壊試験 (NDT) 活動の証明書を発行します。申込時通信欄に NDT 活動証明書と記入してください。証明書はセミナー終了時に交付します。なお、JISZ2305 レベル3 再認証におけるクレジットシステムに活用される方は、ご自身で詳細をご確認ください。

開催日 2021年3月22日 (月曜日) 10:00~17:00

オンラインツール Webex Meetings

定員 50名 (お申込の方に参加手順をご案内いたします)

参加費 (テキスト含む) ① (一般) 38,500円税込 ② (日本非破壊検査工業会会員) 27,500円税込

主催 日本工業出版(株) 月刊「検査技術」 後援 (一社) 日本非破壊検査工業会

時間	演題 & 概要	講師 (敬称略)
10:00 ~ 10:50	デジタル RT 規格の最新動向 溶接継手の放射線透過試験方法—デジタル検出器による X 線及び γ 線撮影技術として JIS Z 3110 が制定された事による業界への影響と期待について紹介する。	大岡 紀一 日本非破壊検査協会
11:00 ~ 11:40	パイプライン現地円周溶接継手用デジタル X 線検査システム ガス事業法に適應するまでの業界内の動向と当社において開発したパイプライン現地円周溶接継手用デジタル X 線検査システム NSDART®による適用事例とフィルム RT との比較について紹介する。	田中 進 日鉄 P&E
11:40 ~ 12:30	維持管理の現場における X 線等高度化への取り組み 産業プラント維持管理における X 線技術等の高度使用を目指し取り組んでいる。フラットパネル検出器による撮像限界延伸や動的撮像、高エネルギー X 線の維持管理分野適用、中性子技術利用などの事例を含め紹介する。	三浦 到 三菱ケミカル
12:30~13:30 昼休		
13:30 ~ 14:10	アナログ画像からデジタル画像へ 画像の撮影、評価、判定、保管について従来のフィルムからデジタル (GR、フラットパネル) にすることのメリット・デメリットについて、配管腐食撮影への適用事例を紹介する。また、Open Vision 及びラインセンサの配管への適用事例及び特徴を整理し紹介する。	松山 雅幸 ウィズソル
14:10 ~ 14:50	NDT 現場作業に対応した FPD の導入展開 過酷な NDT 現場作業に対応したノンガラスディテクターを導入し、基本能力評価試験やサンプル撮像評価試験などを行い、撮像事業に供する段階になった。機材の概要、評価試験結果を紹介すると共に、普及加速に向けた課題なども提起する。	宮本 宏 非破壊検査
14:50 ~ 15:20	リモートワーク時代の X 線透過撮影 デジタル RT が時代の要請に相まって、X 線透過撮影のリモート、ネットワーク環境での高まった利便性について紹介する。	北嶋 一欽 日本ベーカーヒューズ
15:30 ~ 17:00	デジタル RT の普及に向けた課題 パネラー (予定) 日本非破壊検査協会、日鉄住金 P&E、三菱ケミカル、ウィズソル、非破壊検査、富士フィルム、日本ベーカーヒューズ、トーレック、リガク、ダイヤ電子応用、ポニー工業	パネル ディスカッション

※プログラムは都合により変更することがありますのでご了承下さい。

◆問い合わせ先：日本工業出版(株) セミナー事業部 TEL. 03-3944-1181 ◆
ウェブからお申込みできます。 https://www.nikko-pb.co.jp/user_data/sem.php